沖縄県がん診療連携協議会

資料６

沖縄県大腸がん関連データアップデート

2021年8月6日

埴岡健一

趣旨

- 沖縄県では大腸がんの死亡率（男）が高いことが課題になっている。
- 大腸がんプロジェクトが進行中である。
- 2019年2月1日、大腸がんデータの概況を報告。
- 2020年8月7日、データアップデートを報告。
- 本日は、①年齢調整死亡率②年齢調整罹患率③5年生存率－－をアップデートする

ロジックモデルに沿って紹介する

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策	指標	初期アウトカム		中間アウトカム		最終アウトカム	
個別施策	指標	予防対策	指標	罹　患	指標	死　亡	指標
				罹患が減少している	罹患率	死亡が減っている	死亡率
			<柱6>		<柱2>		<柱1>
			<柱6>				
個別施策	指標	早期発見対策	指標	早期発見	指標	生　存	指標
				早期発見が高まっている	早期発見率	生存が高まっている	5年生存率
			<柱7>		<柱4>		<柱3>
			<柱7>				
個別施策	指標	医療の質対策	指標	治　療	指標		
				治療の質が高まっている	進行度別5年生存率		
			<柱8>		<柱5>		
			<柱8>				

2019年2月1日　沖縄県がん診療連携協議会提出資料再掲（大腸がん男関連データ状況）

データセットによって抽出された課題候補〔検証・検討が必要〕

スタート

個別施策	初期アウトカム	中間アウトカム	最終アウトカム
個別施策 / 指標	予防対策 / 指標	罹　患 / 指標	死　亡 / 指標
	野菜摂取が少ない? 肥満度が高い、ハイリスク飲酒が多い	男の罹患率が高い（全国67.9、沖縄86.8）? 県がん登録データで医療圏分析ができないか?	男の死亡率が高い（全国13.2、沖縄16.2）。中部、南部、八重山でSMR高い?
個別施策 / 指標	早期発見対策 / 指標	早期発見 / 指標	生　存 / 指標
アセスメント/マネジメントに改善余地あり	受診率がやや低い。 精検受診率が低い。 対象年齢順守が低い。 再勧奨率が低い…? 低い市町村あり	遠隔比率が高い（全国16.6、沖縄21.1）?	男の5年相対生存率（全国72.2、沖縄66.7）が低い?
個別施策 / 指標	医療の質対策 / 指標	治　療 / 指標	
ビッグプレーヤーが全て参加するカバー率の高いデータ必要	手術件数が少ない。 外科専門医が少ない? 施設単位でもO、P、S指標に懸念があるところがある	男の領域の治療成績が低い（全国72.1、沖縄61.1）?	

詳細はバックデータを参照〔ページ数が赤文字に着目〕

5

2020年8月7日の対象範囲

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策	指標	初期アウトカム	指標	中間アウトカム	指標	最終アウトカム	指標
		予防対策		罹　患	指標	死　亡	指標
				罹患が減少している	罹患率	死亡が減っている	死亡率
			<柱6>		<柱2>		<柱1>
			<柱6>				
個別施策	指標	早期発見対策	指標	早期発見	指	生　存	指標
				早期発見が高まっている	早期発見率	生存が高まっている	5年生存率
			<柱7>		<柱4>		<柱3>
			<柱7>				
個別施策	指標	医療の質対策	指標	治　療	指標		
				治療の質が高まっている	進行度別5年生存率		
			<柱8>		<柱5>		
			<柱8>				

ア：地域の5年生存率
『全国がん罹患モニタリング集計
2009-2011年生存率報告』

イ：地域の病期別の5年生存率
『全国がん罹患モニタリング集計
2009-2011年生存率報告』

ウ：拠点病院カバー率
『2017年　院内がん登録におけるがん登録割合』

エ：拠点病院カバー率
『沖縄県院内がん登録集計報告書2018年症例』

本日の対象範囲

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策	指標	初期アウトカム		中間アウトカム		最終アウトカム	
個別施策	指標	予防対策	指標	罹　患	指標	死　亡	指標
				罹患が減少している	罹患率	死亡が減っている	死亡率
					<柱2>		<柱1>
個別施策	指標	早期発見対策	指標	早期発見	指		
				早期発見が高まっている	早期 率	生存が高まっている	5年生存率
			<柱7>		<柱4>		<柱3>
			<柱7>				
個別施策	指標	医療の質対策	指標	治　療	指標		
				治療の質が高まっている	進行度別5年生存率		
			<柱8>		<柱5>		
			<柱8>				

イ：地域の罹患率
『全国がん登録 罹患数・率報告2018年』

ア：地域の死亡率
『国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2019年）』

ウ：地域の拠点病院等の病期別5年生存率
『がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書』

エ：個別拠点病院等の病期別5年生存率
『がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書』

要約

【死亡率】

・大腸がん（男）はワースト2

・全国値は改善。2018年⇒2019年悪化県は13。沖縄県は悪化。

・10年間改善率は全国値3.8％、沖縄県0.6％。

【罹患率】大腸がん（男）は全国ワースト5。

【5年生存率】参加病院、相対生存率（男女）。

全体：全国72.6%、沖縄県65.8%（−6.8％）

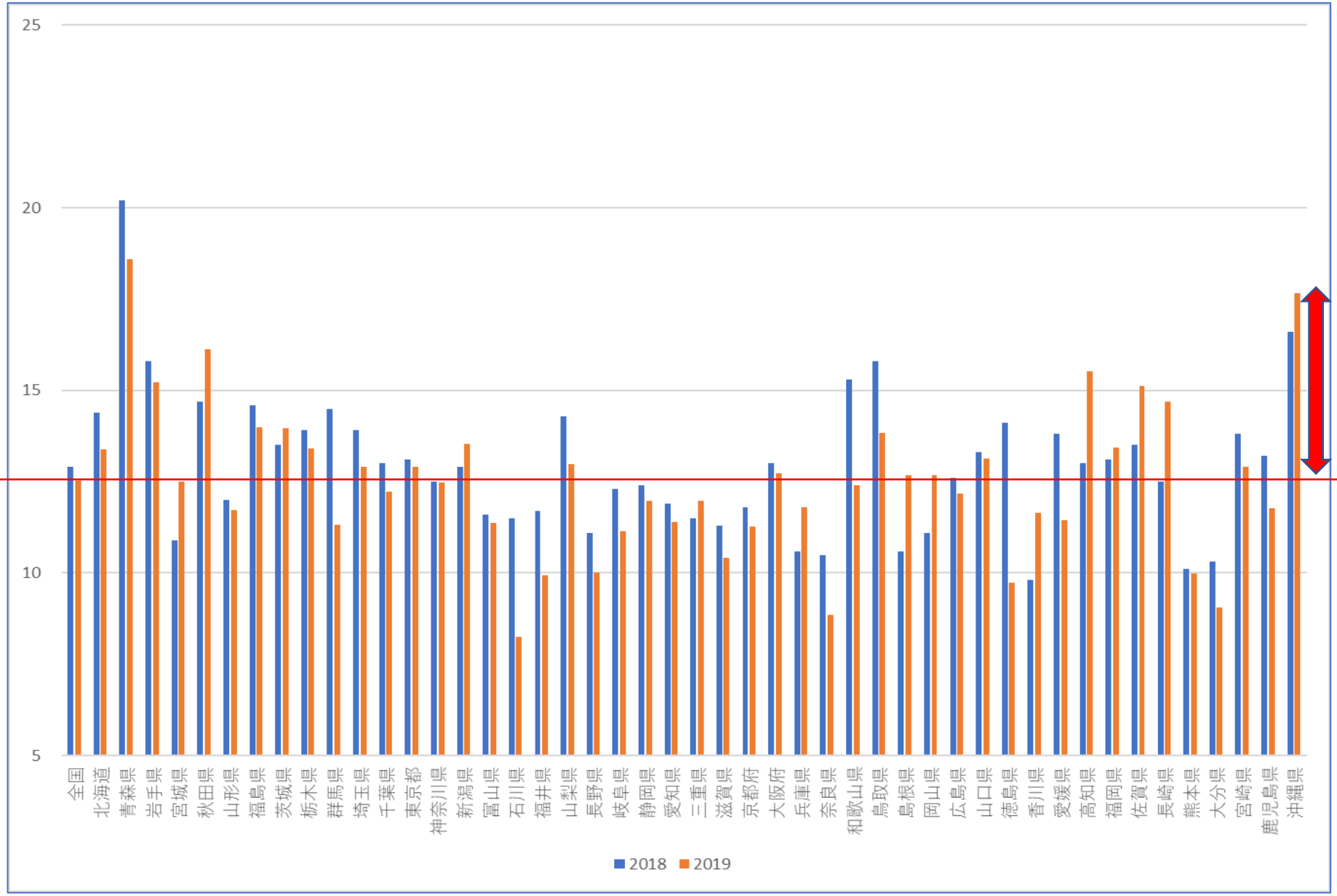
1期：全国94.4%、沖縄県93.1%（−1.3%）

2期：全国89.0%、沖縄県84.3%（−4.7%）

3期：全国77.5%、沖縄69.0%（−8.5%）

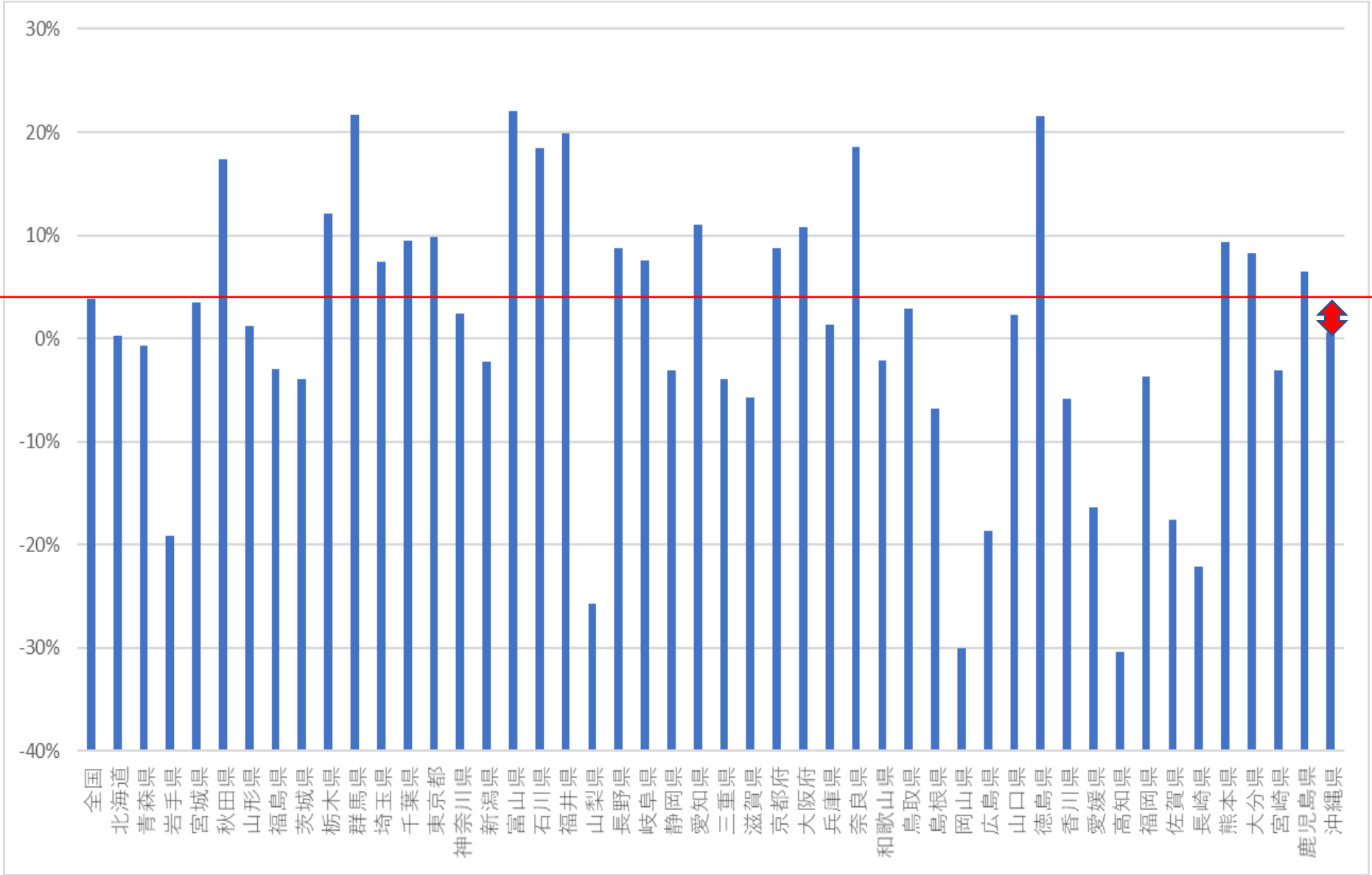
4期：全国18.8%、沖縄18.0%（−0.8%）

年齢調整死亡率　大腸がん　男



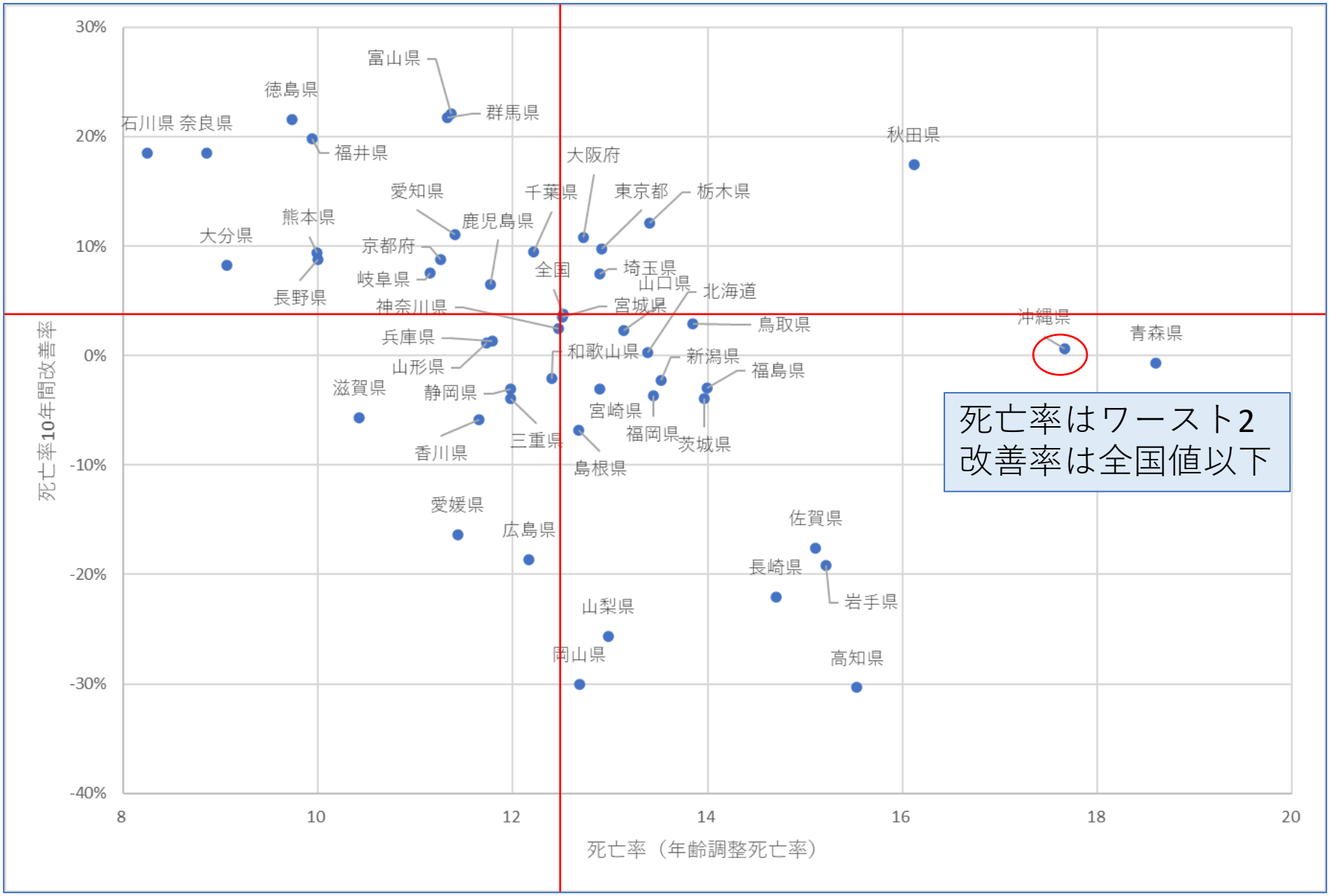
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2019年）から作成

死亡率10年改善率　大腸がん　男



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2019年）から作成

死亡率と死亡率改善率の2項目を同時に表示した散布図　大腸がん　男



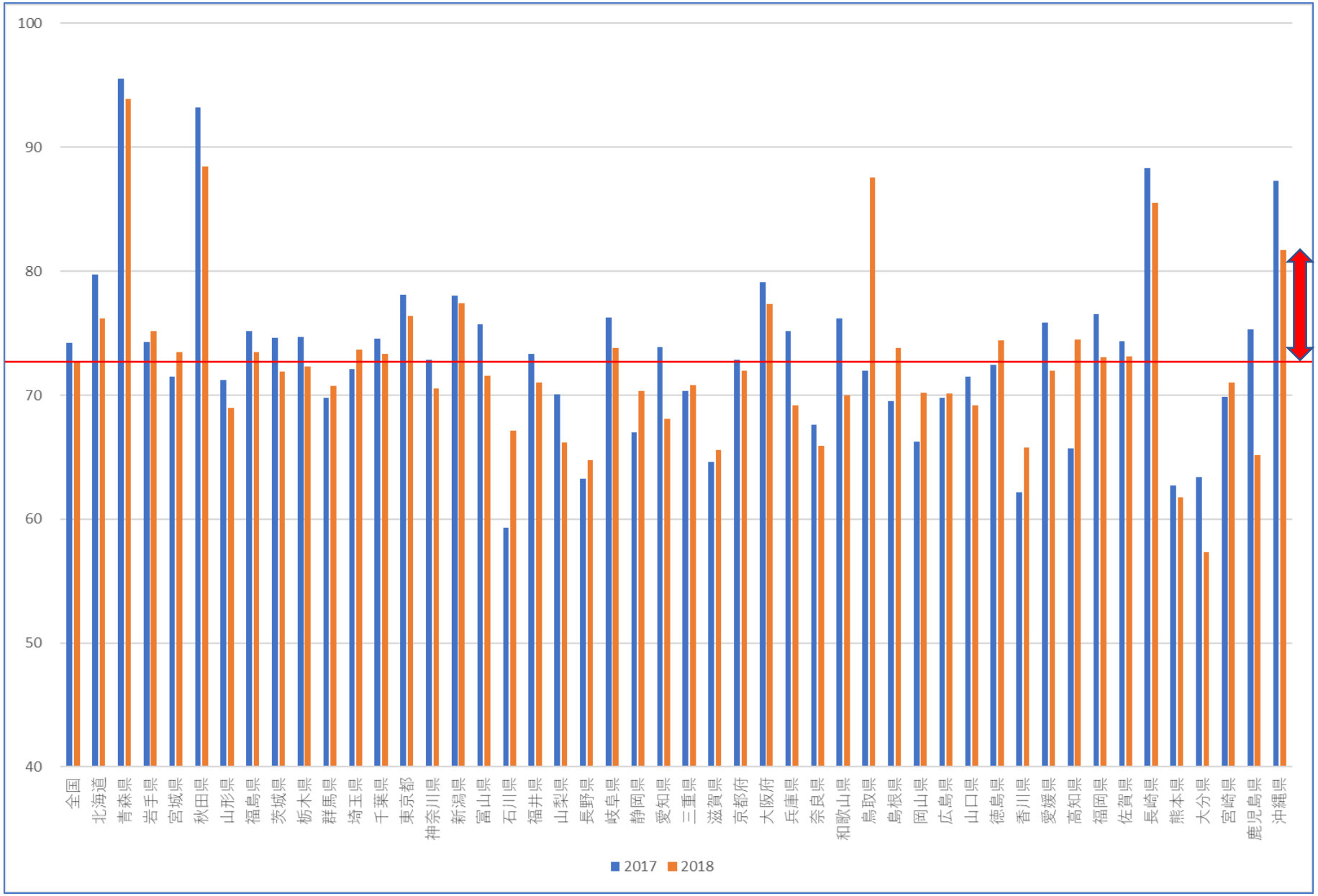
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2019年）から作成

標準化死亡比（SMR）

地域名	標準化死亡比（男）
北部	106.2
中部	114.4
南部	113.0
宮古	125.0
八重山	104.1

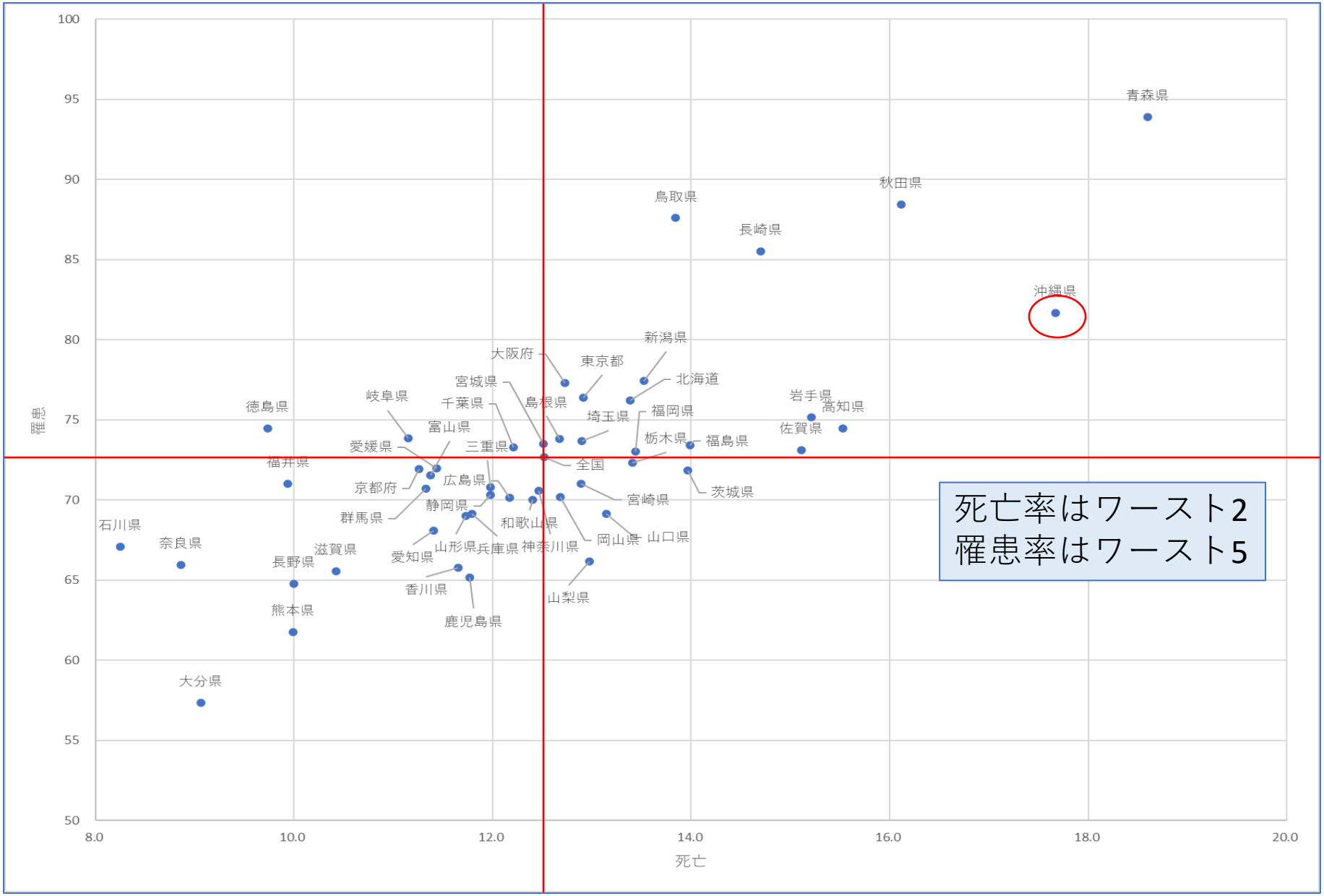
出典：平成25～29年人口動態保健所・市区町村別統計

年齢調整罹患率　大腸がん　男



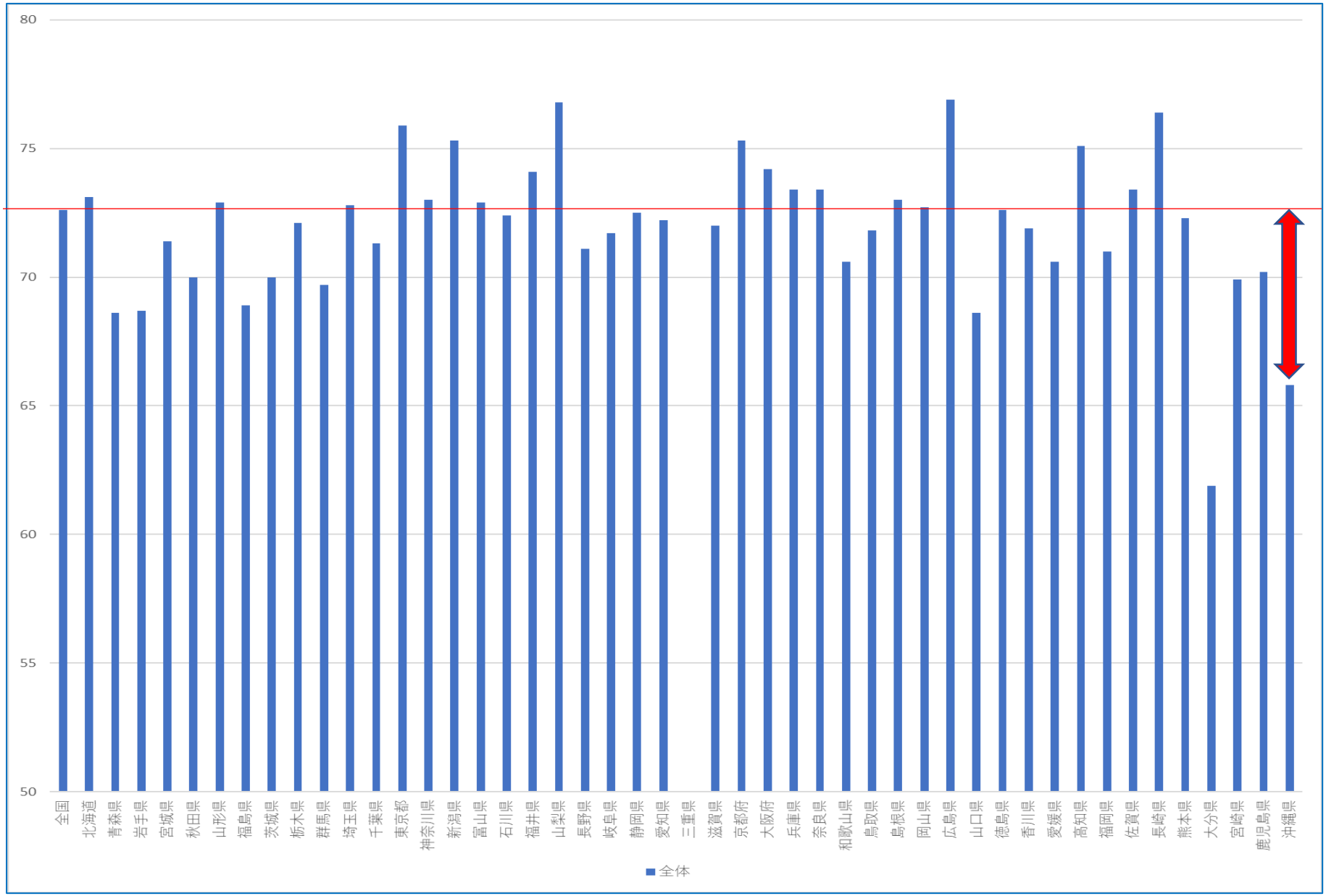
出典:全国がん登録 罹患数・率報告2017、2018から作成

死亡率と罹患率の2項目を同時に表示した散布図　大腸がん　男



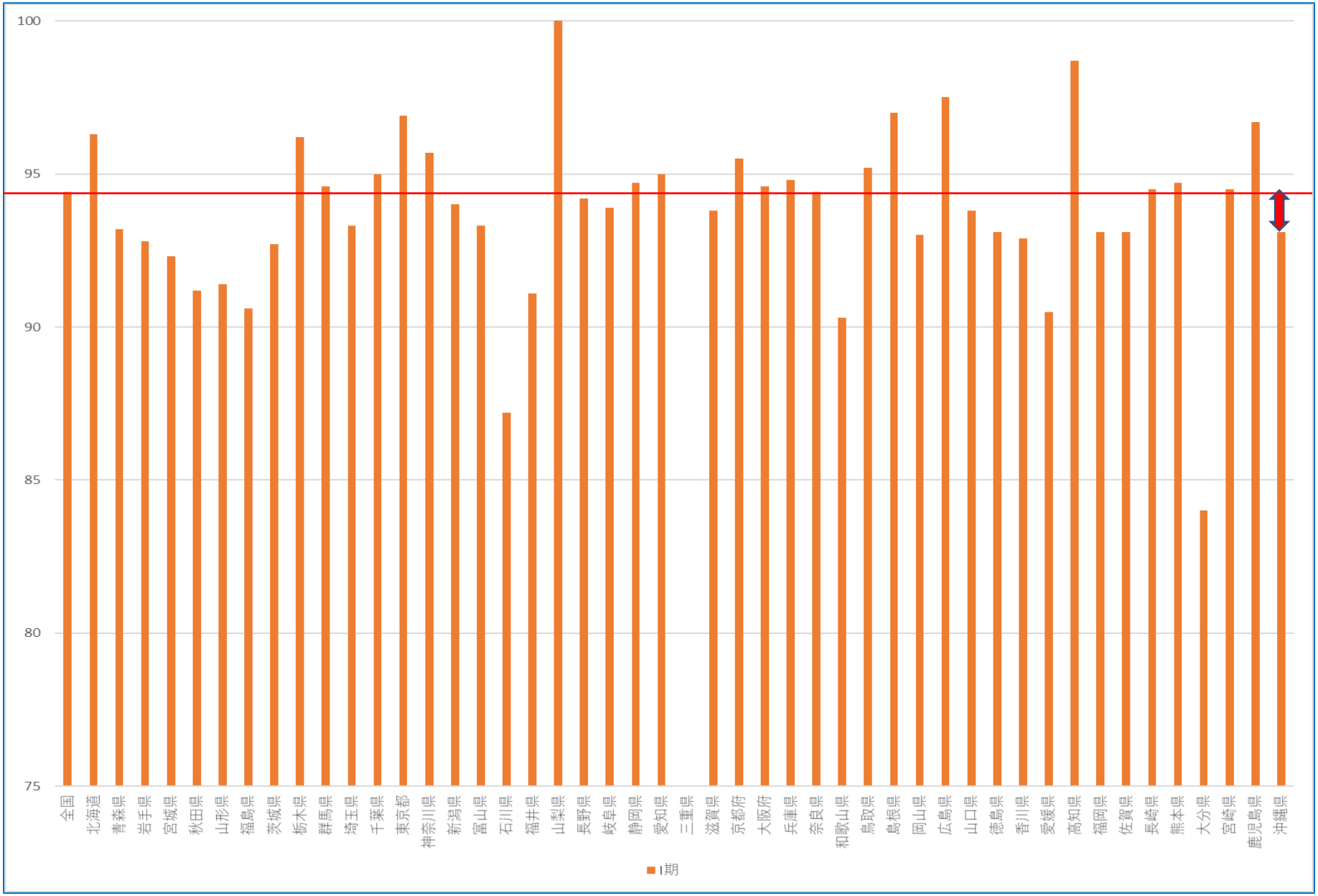
出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2019年）、全国がん登録 罹患数・率報告2018、から作成

5年生存率　大腸がん　全体



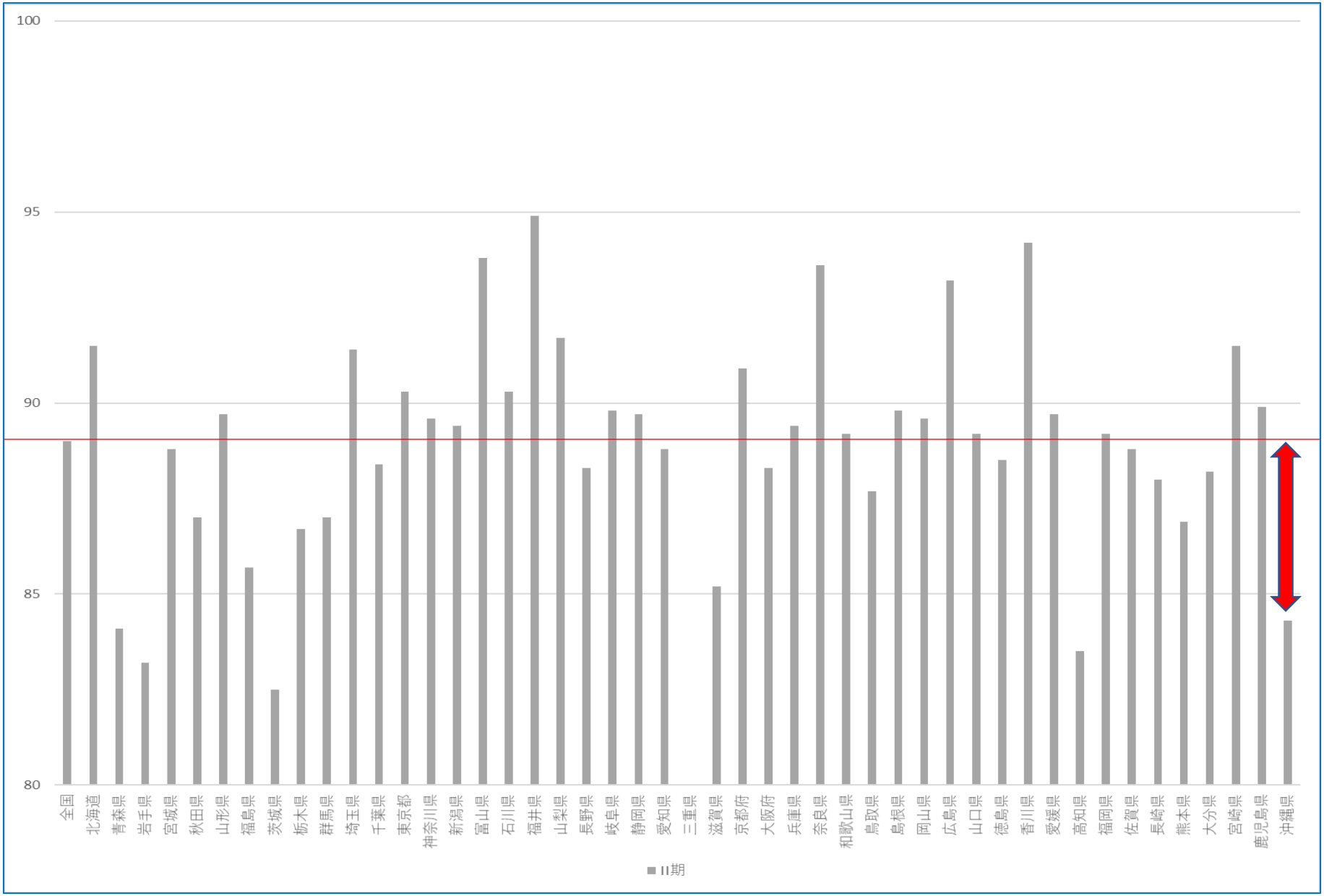
出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書から作成

5年生存率　大腸がん　1期



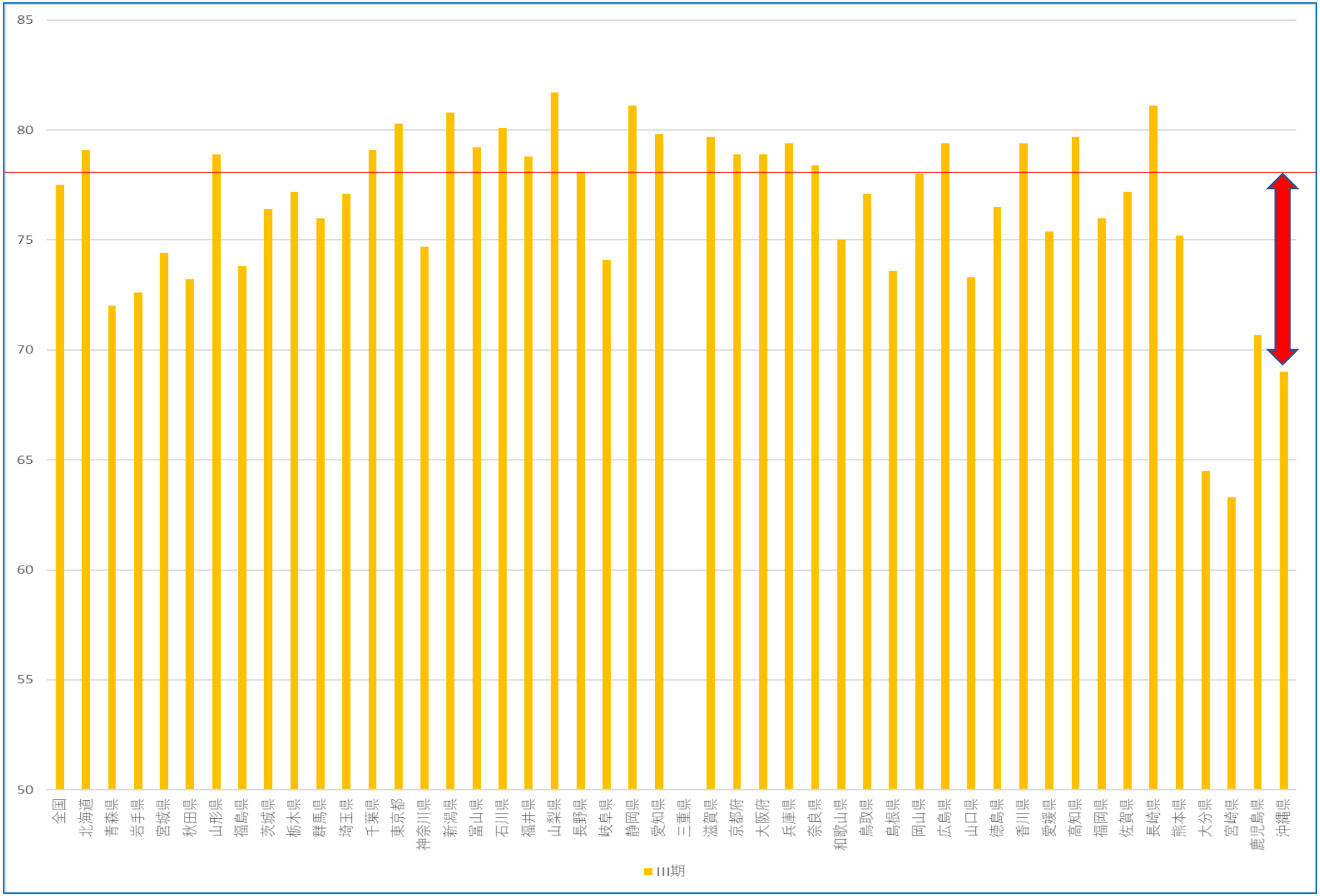
出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書から作成

5年生存率　大腸がん　2期



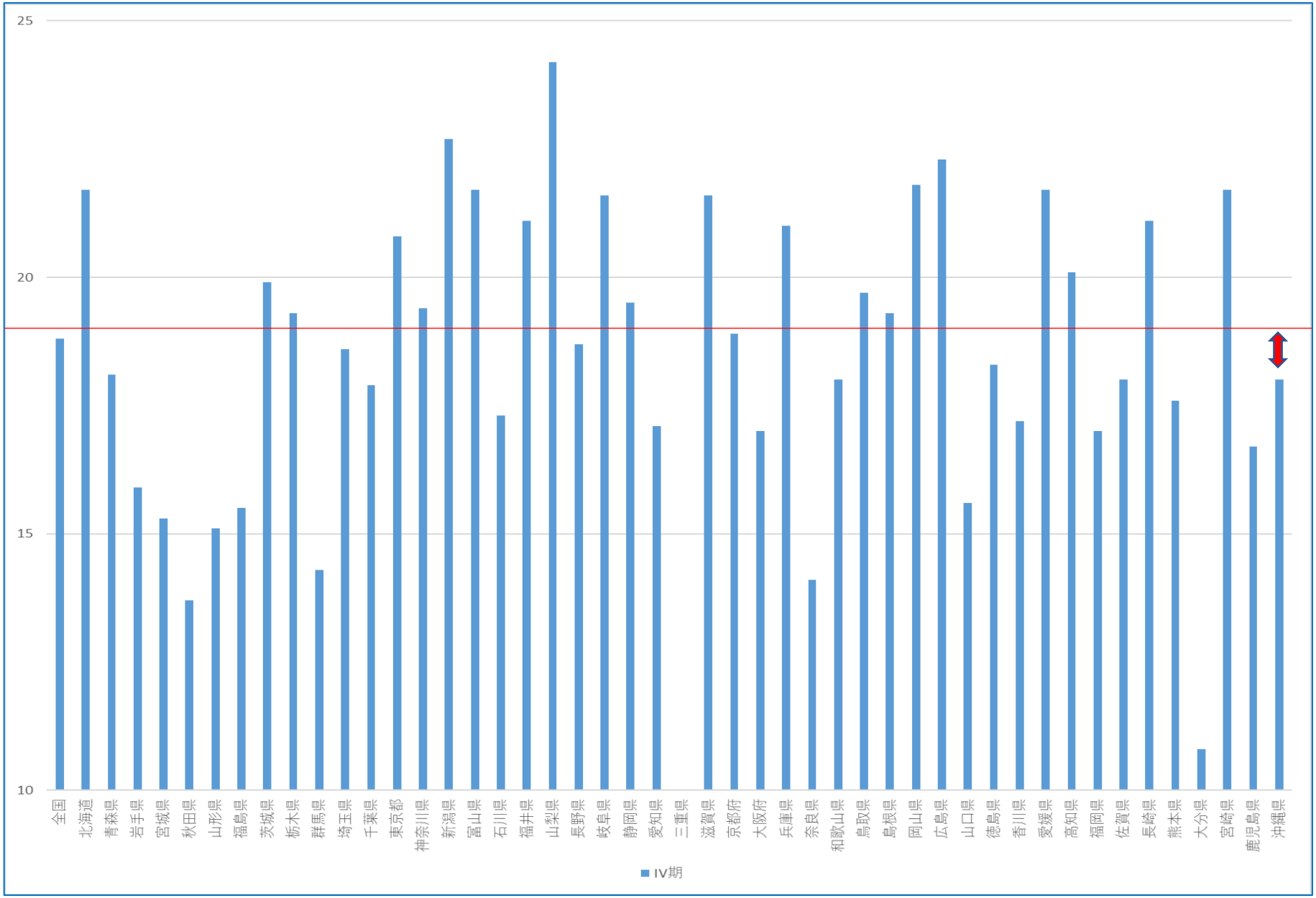
出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書から作成

5年生存率　大腸がん　3期



出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書から作成

5年生存率　大腸がん　4期



出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書から作成

大腸

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	194	81	(4-6)	97.4	57.7	50.3	64.3	69.0
Ⅰ期	46	(7-9)	(1-3)	97.8	82.3	67.6	90.7	68.5
Ⅱ期	43	12	0	100.0	72.1	56.1	83.1	69.3
Ⅲ期	63	25	(1-3)	95.2	59.2	45.8	70.4	69.0
Ⅳ期	39	33	(1-3)	97.4	13.2	4.8	25.8	67.7

属性別集計対象数

性別	男性	女性			
対象数	122	72			
%	62.9	37.1			
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
対象数	(7-9)	32	60	57	38
%		16.5	30.9	29.4	19.6
UICC TNM分類総合ステージ	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不詳
対象数	46	43	63	39	(1-3)
%	23.7	22.2	32.5	20.1	
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳
対象数	30	164	138	26	0
%	15.5	84.5	71.1	13.4	
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他	
対象数	26	11	31	126	
%	13.4	5.7	16.0	64.9	

出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書

●病院コメント

「大腸がん」全体では全国63.3%、沖縄県57.9%に対し、当院は54.2%と低い結果となりました。ステージにおいて当院・沖縄県は全国と比較し、若干、進行期の割合が高いものの、大きな差はありませんが、観血的治療の実施割合が全国と比較して17%低いことが影響していると考えられます。

大腸

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	188	86	(1-3)	98.9	54.2	46.8	61.0	69.3
Ⅰ期	45	13	0	100.0	71.1	55.5	82.1	73.4
Ⅱ期	43	11	(1-3)	95.3	73.9	57.8	84.6	67.8
Ⅲ期	52	19	0	100.0	63.5	48.9	74.9	67.9
Ⅳ期	44	39	0	100.0	11.4	4.2	22.6	66.6

属性別集計対象数

性別	男性	女性
対象数	107	81
%	56.9	43.1

年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
対象数	11	28	54	50	45
%	5.9	14.9	28.7	26.6	23.9

UICC TNM分類総合ステージ	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不詳
対象数	45	43	52	44	(4-6)
%	23.9	22.9	27.7	23.4	

観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳
対象数	56	132	128	(4-6)	0
%	29.8	70.2	68.1		

発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他
対象数	(7-9)	16	47	118
%		8.5	25.0	62.8

出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書

●病院コメント

「大腸がん」の全体の実測生存率63.3%に対して、琉球大学病院は57.5%と下回る結果でした。UICC TNM分類総合ステージIII+IV期の割合は全国値45.8%に比べて琉球大学病院51.9%と高いことが、生存率低下に影響した原因の1つと考えられます。

大腸

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	102	43	(1-3)	99.0	57.5	47.3	66.4	63.9
Ⅰ期	20	(1-3)	0	-	-	-	-	-
Ⅱ期	27	10	(1-3)	-	-	-	-	-
Ⅲ期	26	10	0	-	-	-	-	-
Ⅳ期	27	19	0	-	-	-	-	-

属性別集計対象数

性別	男性	女性			
対象数	61	41			
%	59.8	40.2			
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
対象数	21	15	21	34	11
%	20.6	14.7	20.6	33.3	10.8
UICC TNM分類総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不詳
対象数	20	27	26	27	(1-3)
%	19.6	26.5	25.5	26.5	
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳
対象数	18	84	78	(4-6)	(1-3)
%	17.6	82.4	76.5		
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他	
対象数	(1-3)	(7-9)	30	62	
%			29.4	60.8	

出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書

大腸

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	91	37	(4-6)	95.6	58.7	47.8	68.1	67.5
Ⅰ期	17	(1-3)	(1-3)	-	-	-	-	-
Ⅱ期	26	(4-6)	(1-3)	-	-	-	-	-
Ⅲ期	18	(4-6)	0	-	-	-	-	-
Ⅳ期	30	23	(1-3)	96.7	23.3	10.3	39.4	65.4

属性別集計対象数

性別	男性	女性			
対象数	51	40			
%	56.0	44.0			
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
対象数	(4-6)	17	29	28	12
%		18.7	31.9	30.8	13.2
UICC TNM分類総合ステージ	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不詳
対象数	17	26	18	30	0
%	18.7	28.6	19.8	33.0	
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳
対象数	17	74	73	(1-3)	0
%	18.7	81.3	80.2		
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他	
対象数	(4-6)	(7-9)	23	53	
%			25.3	58.2	

出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書

大腸

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	58	22	0	100.0	62.1	48.3	73.1	67.8
Ⅰ期	(7-9)	0	0	-	-	-	-	-
Ⅱ期	20	(4-6)	0	-	-	-	-	-
Ⅲ期	24	12	0	-	-	-	-	-
Ⅳ期	(1-3)	(1-3)	0	-	-	-	-	-

属性別集計対象数

性別	男性	女性			
対象数	36	22			
%	62.1	37.9			
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
対象数	(4-6)	10	15	16	12
%		17.2	25.9	27.6	20.7
UICC TNM分類総合ステージ	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不詳
対象数	(7-9)	20	24	(1-3)	(1-3)
%		34.5	41.4		
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳
対象数	(4-6)	53	53	0	0
%		91.4	91.4		
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他	
対象数	(4-6)	(1-3)	(4-6)	48	
%				82.8	

出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書

●病院コメント

【大腸がん】

わが国における大腸がんの罹患率は増加傾向にあり、国立がん研究センターの人口動態統計による都道府県別がん死亡データによりますと、２０１８年沖縄県の大腸がんによる死亡率は、男性が２位、女性３３位、男女計３位と高く、現在も深刻な問題となっております。当院でも大腸がんの症例は多く、２０１３年院内がん登録件数５０９件中、大腸がんは９２件と全体の１８％を占めております。性別で見ますと、男性では、当院６０．２％、全国５７．９％、沖縄県５８．９％、女性では、当院３９．８％、全国４２．１％、沖縄県４１．１％となっており、全国、沖縄県同様男性の割合が高くなっております。診断時年齢は、当院では７０歳代が最も多く、次いで６０歳代と全国、沖縄県と同様となっております。発見経緯は、全国同様、がん検診・健康診断での発見が少なく、その他が最も多く自覚症状を認め来院となった方が多くなっております。

ＵＩＣＣ　ＴＮＭ分類総合ステージを見ますと、当院はI期３０．１％、次いでII期２９．３％となっており、全国同様リンパ節転移、遠隔転移のないI、II期の患者さんの割合が多くなっております。

観血的治療の治癒切除率を比較してみますと、当院７５．９％、全国７８．４％、沖縄県７５．８％とほぼ同様ですが、実測生存率は、当院６３．１％、全国６３．３％、沖縄県５７．２％と沖縄県の生存率が低くなっております。要因として、当院と全国がI、II期の患者さんが多いのに対し、沖縄県は、III期の患者さんが最も多く、進行された状態で発見された患者さんが多いことから、生存率が低くなったと考えられます。

大腸がんは、早期に診断、治療が開始できれば根治が可能ながんであり、当院では、「大腸がん早期発見プロジェクト」を立ち上げ、入院患者さんに対し、便潜血の無料検査を実施し、大腸がん死亡率低下を目指しております。

出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書

大腸

5年生存率

	対象数	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	95%CI low	95%CI high	平均年齢(歳)
全体	133	49	(1-3)	98.5	63.1	54.2	70.6	69.6
Ⅰ期	40	(7-9)	(1-3)	97.5	77.5	61.2	87.6	71.5
Ⅱ期	39	(7-9)	(1-3)	97.4	76.6	59.8	87.1	69.2
Ⅲ期	28	(7-9)	0	-	-	-	-	-
Ⅳ期	24	21	0	-	-	-	-	-

属性別集計対象数

性別	男性	女性			
対象数	80	53			
%	60.2	39.8			
年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
対象数	(4-6)	20	33	49	25
%		15.0	24.8	36.8	18.8
UICC TNM分類総合ステージ	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不詳
対象数	40	39	28	24	(1-3)
%	30.1	29.3	21.1	18.0	
観血的治療の実施	無	有	治癒切除	非治癒切除	別不詳
対象数	16	117	101	15	(1-3)
%	12.0	88.0	75.9	11.3	
発見経緯	がん検診	健康診断	他疾患観察中	その他	
対象数	(4-6)	18	34	76	
%		13.5	25.6	57.1	

出典:がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012-2013年生存率集計報告書

沖縄県の院内がん登録報告書で公表している大腸がん施設別病期別5年相対生存率

		2007-2008年				2009-2013年			
		対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
3病院計	Ⅰ期	93	–	–	15.1	243	91.7	3.0	2.5
	Ⅱ期	97	87.1	4.9	5.2	289	82.1	3.1	1.7
	Ⅲ期	109	73.9	5.1	3.7	335	74.9	2.9	1.5
	Ⅳ期	98	11.9	3.5	3.1	252	17.2	2.5	0.8
	不明	8	18.6	17.7	0.0	15	0.0	0.0	0.0
	全体	405	65.1	2.8	6.4	1,134	66.5	1.7	1.6
琉球大学病院	Ⅰ期	45	–	–	26.7	51	95.9	4.7	3.9
	Ⅱ期	15	96.2	7.4	6.7	67	75.5	6.6	1.5
	Ⅲ期	25	67.3	10.8	8.0	75	80.0	5.6	0.0
	Ⅳ期	22	16.7	9.0	9.1	65	26.1	5.7	0.0
	不明	2	50.8	37.9	0.0	2	0.0	0.0	0.0
	全体	109	–	–	15.6	260	68.6	3.3	1.2
那覇市立病院	Ⅰ期	26	90.5	9.2	7.7	104	94.4	4.4	2.9
	Ⅱ期	40	87.4	7.6	7.5	119	80.9	4.8	1.7
	Ⅲ期	51	76.2	7.6	3.9	142	73.3	4.5	2.8
	Ⅳ期	41	11.6	5.4	2.4	81	12.5	3.9	1.2
	不明	1	0.0	0.0	0.0	3	0.0	0.0	0.0
	全体	159	65.5	4.6	5.0	449	69.4	2.7	2.2
県立中部病院	Ⅰ期	22	88.6	9.1	0.0	65	86.7	6.0	1.5
	Ⅱ期	42	76.4	8.0	2.4	83	86.6	5.8	2.4
	Ⅲ期	33	70.2	9.2	0.0	95	70.7	5.7	1.1
	Ⅳ期	35	9.1	5.0	0.0	84	16.8	4.3	1.2
	不明	5	0.0	0.0	0.0	10	0.0	0.0	0.0
	全体	137	58.5	4.8	0.7	337	62.5	3.1	1.5

出典：沖縄県院内がん登録集計報告書2019年症例

ウェブで公表している大腸がん施設別病期別5年相対生存率

		2007年				2008年				2009年			
		対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
沖縄県がん診療連携拠点病院3施設	Ⅰ期	43	-	-	11.6	56	-	-	21.4	45	92.4	5.6	4.4
	Ⅱ期	47	75.5	7.9	0	33	69.8	9.4	6.1	35	87.3	8.7	0
	Ⅲ期	44	71	8.3	4.5	68	86.4	6	4.4	69	85.7	5.6	0
	Ⅳ期	51	14.1	5.4	7.8	48	7.4	4.1	2.1	44	22	6.7	0
	不明	14	79.4	14.8	7.1	14	-	-	14.3	21	53.5	12.5	4.8
	全体	199	64.4	4.1	6	219	64.6	3.8	9.1	214	72.6	3.7	1.4
国立大学法人　琉球大学医学部附属病院	Ⅰ期	19	-	-	26.32	31	-	-	29.03	15	95.9	7.2	6.7
	Ⅱ期	4	100	0	0	5	81.1	18.95	0	11	74.1	14.1	0
	Ⅲ期	9	-	-	22.22	15	87.56	9.02	0	15	95.2	7.3	0
	Ⅳ期	9	-	-	22.22	11	19.43	12.83	0	13	16.4	11.1	0
	不明	2	100	0	0	3	-	-	66.67	2	51.8	40.8	0
	全体	43	-	-	20.93	65	-	-	16.92	56	77.1	6.8	1.8

出典：おきなわ　がん情報ネット　みるん・しるん⇒がんの種類を部位から探す⇒大腸がん⇒5年生存率

		2007年				2008年				2009年			
		対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
地方独立行政法人那覇市立病院	Ⅰ期	16	96.1	6.9	0	14	-	-	14.3	18	92	8.1	0
	Ⅱ期	29	82.4	9.4	0	14	-	-	14.3	14	86.9	13.1	0
	Ⅲ期	15	64.7	14.3	0	32	79.5	9.9	9.4	25	80.5	9.5	0
	Ⅳ期	25	8.6	5.9	0	14	0	0	7.1	12	18	11.8	0
	不明	2	51.1	39.3	0	6	85	16.2	0	11	67.3	15.7	9.1
	全体	87	62.5	6	0	80	67.1	6.5	10	80	76.3	5.8	1.3
沖縄県立中部病院	Ⅰ期	11	92.8	9.6	0	11	74.3	16.1	9.1	12	80.3	14	8.3
	Ⅱ期	15	50.5	14.1	0	14	63	14.9	0	10	82.3	19	0
	Ⅲ期	20	82.5	10.9	0	21	84.5	10.6	0	29	79.3	9.3	0
	Ⅳ期	20	23	10.2	10	23	4.6	4.5	0	19	27.9	11.1	0
	不明	11	70.5	18.3	9.1	5	46.7	26.1	0	8	28.2	18.9	0
	全体	77	63.2	6.4	3.9	74	52.4	6.6	1.4	78	65.1	6.5	1.3

出典元:院内がん登録データからみる沖縄県のがん診療の現状（院内がん登録集計報告書）（2014年症例）

出典：おきなわ　がん情報ネット　みるん・しるん⇒がんの種類を部位から探す⇒大腸がん⇒5年生存率

最終アウトカム、中間アウトカム部分の総合アップデート（大腸がん男関連データ状況）

がん対策地域別データ集: ロジックモデルシート

スタート

個別施策 → 初期アウトカム → 中間アウトカム → 最終アウトカム

個別施策	指標	予防対策	指標
			<柱6>
			<柱6>

罹　患　指標

男の罹患率が高い（全国72.7、沖縄81.7）と低い。

死　亡　指標

男の死亡率が高い（全国12.5、沖縄17.7）。SMR中部114、南部113、宮古125と高い。

個別施策	指標	早期発見対策	指標
			<柱7>
			<柱7>

早期発見　指標

限局率低い（全国43.6、沖縄41.8）、領域率高い（28.4、30.7）、遠隔率高い（18.2、20.0）。

生　存　指標

男の5年相対生存率が（全国72.4、沖縄70.2）と低い。

個別施策	指標	医療の質対策	指標
			<柱8>
			<柱8>

治　療　指標

県・男・5生の限局低い（全国97.1、沖縄96.0）、領域低い（75.7、75.2）、遠隔低い（18.2、14.8）。**拠点病院等5生1期低い（94.4、93.1）、2期低い（89.0、84.3）、3期低い（77.5、69.0）、4期低い（18.8、18.0）。**

まとめ

- 沖縄県の大腸がん（男）の課題は解消していない。
- 「大腸がんプロジェクト」のさらなる推進が望まれる。
- 大腸がん対策のロジックモデル全体を見たうえで、各部分の取組を戦略的・総合的に行い、初期アウトカム⇒中間アウトカム⇒最終アウトカムへと、効果をもたらしていくことが期待される。
- 大腸がん対策に関するデータを体系的に集めてモニターし、対策のニーズやインパクトの評価に活用することが重要。